

平成17年度
決算の概要

平成17年度は、国の「構造改革」が進み、地方交付税の削減及び国庫補助負担金の見直しなどの影響で財政の硬直化が進みました。

起債借入（＝借金）における目安とされる「実質公債費比率」（特別会計等を含めた起債制限比率）が19.0%となり、起債発行に北海道知事の許可が必要になりました。

着実なまちづくりのために、名寄市立大学校舎整備事業をはじめ、地域資源の拡充と交流人口の拡大、産業振興基盤・教育環境の充実、合併の推進などの分野で整備を進める一方、公共施設の計画的補修を行うことで、地域経済・雇用確保に配慮した事業量を確保しました。

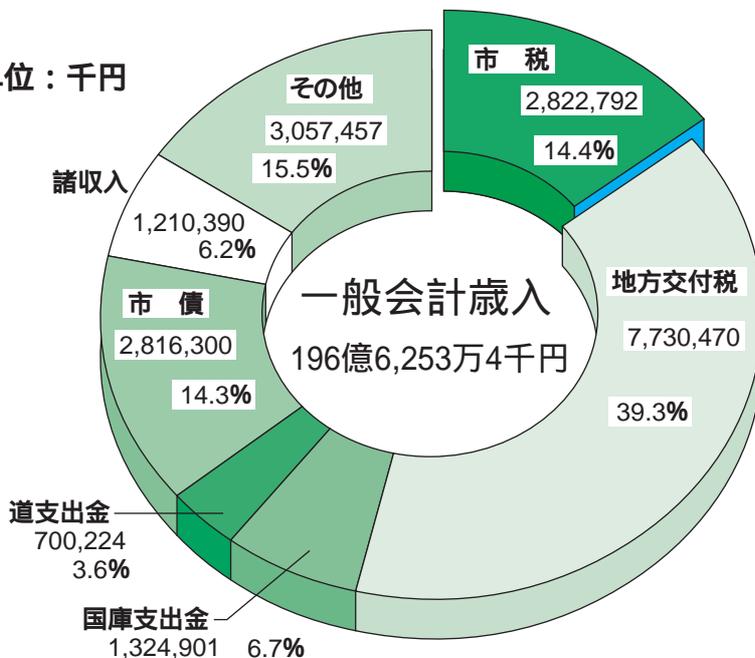
合併によって、平成17年4月1日から平成18年3月26日までの名寄市及び風連町では打切決算となり、平成18年3月27日から平成18年3月31日の期間は暫定予算を組んで決算しました。一般会計の決算総額は、歳入額が196億6,253万4千円、歳出額が194億7,350万5千円で、歳入歳出差引き1億8,902万9千円となりましたが、翌年度繰越財源と財政調整基金による調整によって実質単年度収支が6,972万5千円の赤字となりました。（旧両市町の前年度収支が反映すると2億5,721万1千円の赤字）

（本文中の決算額は重複分を差引いた決算統計ベースです。）

平成17年度に行った主な事業

風連・名寄地域イントラネット構築事業	255,270千円
風連町・名寄市電算システム統合整備事業	185,936千円
農道整備特別対策事業（大沢線）	46,101千円
木材需要拡大センター改修事業	11,057千円
道の駅整備事業	42,755千円
19線道路改良事業	131,956千円
東8号北線道路交通安全事業	70,559千円
サンピラーパーク整備事業	124,295千円
名寄市立大学整備事業	1,473,585千円

単位：千円



道立サンピラーパーク内の森の休暇村



【名寄市の財政力は？】

財政力指数(3年平均)
0.291(前年度0.285) 改善
1.0に近いほど強い
経常収支比率
92.3%(前年度86.6%) 悪化
財政の弾力性を示す、経常的な支出と収入の割合
実質公債費比率

19.0% 新設
18%を超えると起債借入に北海道知事の許可が必要となり、25%を超えると起債発行が一部制限されます。

前年度の数値は、旧市町の数値を加重平均して求めています。

歳入決算額は、前年度と比べて市民税個人所得割の減少などにより市税が2,592万5千円(0.9%)減少し、歳入の4割を占める地方交付税についても4,846万4千円(0.6%)減少しましたが、歳入全体では市債が6億2,450万円(28.5%)増えるなど、8億8,704万9千円(4.7%)の増加となりました。

各会計決算総括表

区 分		歳入決算額	歳出決算額	差引額
一 般 会 計		196億6,253万円	194億7,350万円	1億8,903万円
特 別 会 計	国 保 険 事 業 勘 定	26億7,154万円	29億3,124万円	-
	保 直 診 勘 定	1億2,000万円	1億3,016万円	-
	老 人 保 健 事 業	32億 730万円	32億6,001万円	-
	介 保 険 事 業 勘 定	20億7,332万円	19億2,232万円	-
	護 サービス事業・名寄	6億3,000万円	7億8,191万円	-
	サービス事業・風連	4億 654万円	4億8,252万円	-
	下 水 道 事 業	19億8,411万円	23億5,606万円	-
	個別排水処理施設整備事業	5,333万円	8,347万円	-
	簡 易 水 道 事 業	5,809万円	6,526万円	-
	公 設 地 方 卸 売 市 場	3,725万円	4,326万円	-
食 肉 セ ン タ ー 事 業	4,642万円	5,305万円	-	
小 計	112億8,790万円	121億 926万円	-	
一般会計 + 特別会計		309億5,043万円	315億8,276万円	-
企 業 会 計	病 院 事 業 会 計	68億8,015万円	72億2,662万円	-
水道事業会計	5億9,045万円	6億2,700万円	-	

合併によって決算が【旧名寄市打切】、【旧風連町打切】、【新名寄市】の3本になりました。この表では、3本の決算を合算して表示していますが、国民健康保険事業勘定で7,045万円、同直診勘定で172万円、介護保険事業勘定で1億3,047万円が黒字となり、これ以外の特別会計は一般会計との調整で収支が一致しています。

一般会計では、ごみ処理手数料など、歳入と歳出が重複する1億9,581万円を差し引いているほか、旧市町の打切決算に対する補てんなどの調整を行っています。

一般会計とは

市の財政は一般会計、特別会計、企業会計からなっており、土木費や教育費など、行政運営の基本となる会計のことをいいます。

特別会計とは

特定の事業やサービスを提供するために、利用者からいただいた保険料や使用料などを財源として事業を運営するために設けられた会計のことをいいます。

企業会計とは

自ら事業を行い、その事業で得た財源で運営する、民間企業と同様の経理をする会計のことをいいます。

【名寄市の貯金と借金】

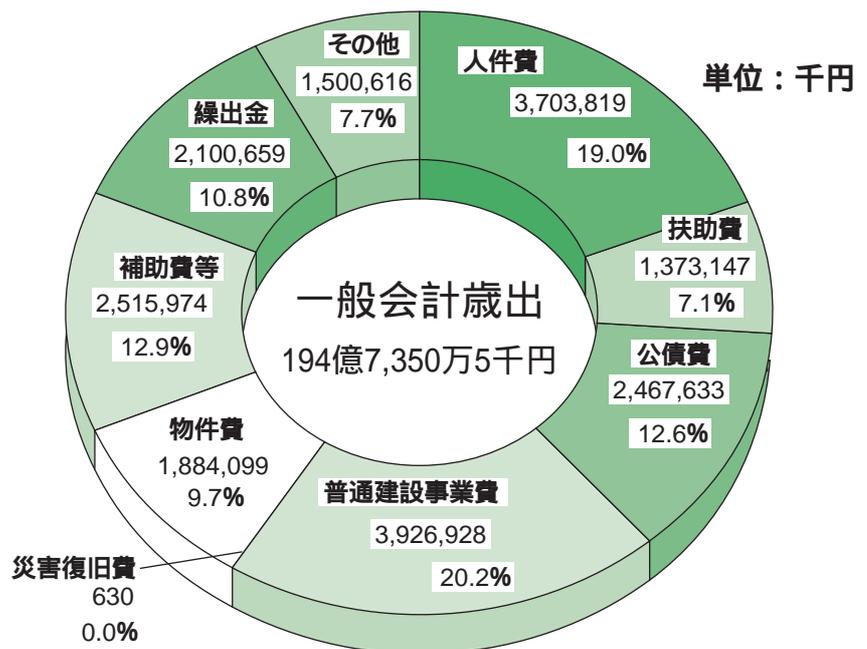
貯金にあたるものとしては基金があります。平成18年5月31日現在では一般会計と特別会計合わせて27億9,749万円の現在高で、1人あたりにすると8万9,629円。また借金にあたるものが地方債残高で、病院事業などの企業会計や介護保険などの特別会計を含む全会計の総額では448億3,923万円となっており、1人あたりにすると143万6,602円となります。

年度末人口31,212人

【主な市有財産の現在高】
(平成18年3月31日現在)

土 地	3,932万1,842㎡
内 山 林	2,407万3,645㎡
建 物	29万1,578㎡
有価証券	3,969万円
債 権	4億8,490万円
基 金	26億4,337万円

平成18年3月31日現在



歳出決算額は、前年度と比べ全体で8億8,768万円（4.8%）の増加となりました。人件費・扶助費・公債費を合わせた義務的経費の割合は38.7%で、投資的経費は20.2%となりました。